

【天体観測ドーム 今月の OPEN 日】

2 / 1, 2, 8, 9, 11, 15, 16, 22, 23, 24, 29



屋上・天体観測ドーム

2月になりました。

旧暦ではこの2月、立春の日から新年が始まるとされますね。お正月に加えてふたたびフレッシュな気持ちで過ごしたいものです。

実際の春の訪れまでにはまだかかりそうですが…春休みにはまた「天体観測ドーム特別開放」もおこなわれます。あたたかい季節を迎えるまでにもう一歩、がんばってゆきましょう♪

✿ 春休み特別開放：3/27（金）～ 4/7（火）✿

コンパルホール

星空通信

2020年 2 月 号



東経131度36分50秒、北緯33度13分55秒に位置するコンパルホール。
屋上(7階)には、直径5メートルの電動回転式ドームがあります。倍率約360倍のニュートン式300ミリメートル反射式望遠鏡を1台、さらに、100ミリメートル屈折式望遠鏡4台を備えています。観望時には指導員が星空の解説をおこない、望遠鏡の操作説明もします。大分の街中に、ふらりと星を見にいっちゃいませんか？

topic

節分と「星祭り」

節分の頃になると、各地のお寺で「星祭り」という名前の行事が聞かれます。

“節分”と“星”まつり??

何か関係があるのでしょうか。

もともとは平安時代の貴族に好まれた「宿曜道」の占星術が起源となっているようです。この占星術自体は江戸時代には衰退していきましたが、いまでも密教系のお寺を中心に伝統行事として「星祭り」をおこなうところが多いのです。星祭りには、その年の吉凶を左右する星をおまつりして、1年の安泰を祈願します。

天球を28分割して星座を割り当てた古代中国の考え方「二十八宿」では、夜空に「鬼星」があります。場所をはに座の4つの星の中心あたり。今年は、各家々で追い出された鬼を星空に探してみませんか♪



今月の惑星情報

火星

日の出前の南東の空に見え、明るさは、1.4等から1.1等。

水星

日の入り後の南西～西の空で明るく輝いています。

日の入り後の西の低空に位置。

7日から14日の間は観望しやすくなります。

木星

日の出直前の南東の低空に見えます。

土星

日の出直前の南東の低空に位置します。

★曇天時のお問い合わせ★

097-538-3700 (コンパルホール)

